

# 分野連携企画報告書

## 行事（企画）名

生産システム部門／情報・知能・精密機器部門コロケーション講演会

行事URL: <https://www.iip-conference.org/iip2024>, [https://www.jsme.or.jp/msd/101\\_kouen24-5/](https://www.jsme.or.jp/msd/101_kouen24-5/)

1.開催日・会場 2024年 3月4日(月), 5日(火) 岡山大学津島キャンパス (Zoom配信によるハイブリッド開催)

### 3.企画内容

生産システム部門と情報・知能・精密機器部門が2021年度から行っているコロケーション講演会を継続して実施する。共通する研究課題を持つ2つの部門による相乗効果をより発展させることを目指す。対面とオンラインのハイブリッド開催の利点を生かし、参加しやすく交流の活発な会を企画する。他部門との連携企画も含め、従来よりIIP, MSD両部門で活動している参加者や新しい参加者が互いに部門を超えた議論・交流が行える仕組みを提供する。講演発表を通じて、学術研究者と産業界実務者の双方に有益な、より良い講演会と学会の在り方を模索する。

### 4.連携の成果

講演申込がIIP:105件、MSD:69件、講演会参加登録者がIIP:192名、MSD:144名と昨年を超える参加者が得られた。現地での参加が約9割と増え、合同で開催した懇親会も100名を超える参加があり、対面での交流の活発化の流れが明確となった。各部門で企画した他学会・団体との連携セッション・合同企画に加えて、今回初めて、MSD・IIP両部門が持つIoT関連のOSを合同で編成したMSD/IIP合同セッション「スマートマニュファクチャリング／IoTと情報・知能・精密機器」を開催した。本企画のために、両部門の部門長はじめオーガナイザ、表彰委員会が部門の垣根を越えて事前準備を行い、当日は多数の聴講者が集まり活発な議論がなされた。

### 2.企画部門

情報・知能・精密機器部門(IIP)、  
生産システム部門(MSD)

### 5.今後の課題（苦勞した点, 課題点, 他の企画へのアドバイス等）

前回の2023年開催時に比べハイブリッドシステムの構成を簡素化し、事前準備の負担は低減できた。一方、費用は若干増加したが、それを上回る参加者増があり費用面の負担は相殺された。今回ほとんどが現地での参加であったが、企業からの参加者を中心にオンライン参加を希望する声は強く、今後もハイブリッド開催を継続すべきと考える。

今回初めてMSD/IIP合同OSを企画した。準備期間が短い中、両部門の違いを乗り越えて開催できたことは、両部門の部門長、筆頭オーガナイザを中心に関係者の尽力の結果であり、部門連携強化の良いきっかけであると考えている。来年度は合同OSでの講演を対象とした合同表彰が控えている。さらなる連携の深化を期待する。

前回に引き続き地方の大学を講演会会場に選んだ。従来、東京圏での開催が恒例であったが、地方開催は現地参加を選ぶ良い動機付けになるとの参加者の声が多かった。会場となる大学の協力を得ること、地域の支援制度の活用など実施に関して負担もあるがメリットも大きい。